

復興まちづくりニュース Vol16 中心市街地地区

第11回中心市街地復興まちづくり推進委員会を開催しました

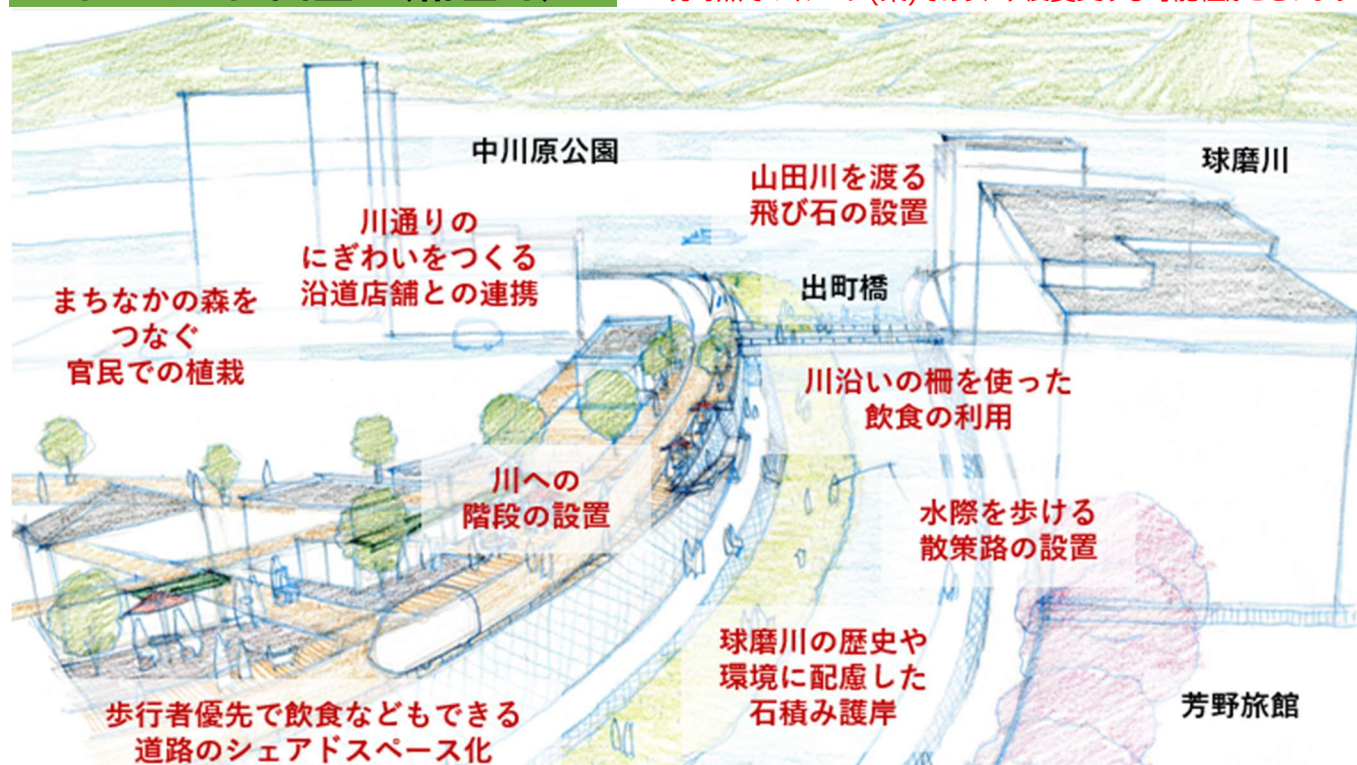
令和7年2月25日(火)人吉市役所において、第11回中心市街地復興まちづくり推進委員会を開催しました。当会では、復興まちづくりの取組について報告を行いました。

人吉まちなかグランドデザイン推進アクションプランについて

本市では「まちなかグランドデザイン推進方針」に基づき、「市民の生活満足度向上」と「観光地としての魅力向上」の両輪による復興まちづくりの推進方策を掲げる人吉まちなかグランドデザイン推進アクションプランを策定しました。当アクションプランは、市民・専門家の思いやアイデアを重ね、各エリアの将来ビジョンや景観、交通、情報発信、安全対策等とする行動指針であり、今後、当アクションプランに基づいて事業化検討や社会実験等を実施していく予定です。

山田川・区画整理(紺屋町)

▼現時点でのイメージ(案)であり、今後変更する可能性があります。



▼まちなかグランドデザイン推進アクションプランに関するご意見、ご質問の一部をご紹介します。

【ご質問】 Q:委員 A:市

Q 中川原公園に樹木は植えますか？

A 国交省と協議を進めており、下流側に樹木を植える予定としています。

Q 今後、SLに乗ることはできますか？

A 将来的にはレールを伸ばして空気圧で動かすことを検討している。その際には実際にSLに乗っていただけるよう考えている。

【ご意見】

- アクションプランについて防災面の説明もっと記載していただくと安心した資料になる。
- 菊池図書館のような子育て支援できる場所があれば良い。
- 雨天時の子供たちの遊び場を作してほしい。

中心市街地地区の復興状況の取組について

紺屋町土地区画整理事業は、今年2月14日に第7回土地区画整理審議会が開催され、当審議会の審議の結果、新たに13画地を仮換地指定しました。このことにより全39画地すべてが仮換地指定となりました。引き続き、住民の皆様の早期再建が図れるよう努めてまいります。



(紺屋町土地区画整理事業の様子)

交流・文化の場(うぐいす温泉周辺)社会実験について

交流・文化の場に関する取組として、うぐいす温泉前敷地を活用した社会実験を3月1日から3月30日までの1か月間実施しました。当社会実験は、空き地等の課題から緑豊かな広場を設け、市と市民が協力することで地域の魅力向上と持続可能なまちづくりを目指すためのプロジェクトで、一時的なイベントではなく将来の暮らしを見据えた土地利用を試みました。



(本の読み聞かせの様子)

(幼稚園生の遠足の様子)

(移動図書館の様子)

▼復興状況及び交流・文化の場の社会実験についてのご意見、ご質問を一部ご紹介します。

【ご質問】 Q:委員 A:市

Q 現在検討されている内容等は将来的に周辺のお店の方が管理するのが目標となるのか？

A 現在は決まっていないが運営や管理をどう担い、魅力的なまちにしていくのかを社会実験を通して皆さんと一緒に探していければと考えている。

Q 夜にうぐいす温泉を利用することも可能か？

A 管理者が常設・常駐しないといけない部分もある。社会実験ではそういう体制も含めて考えていきたい。

【ご意見】

- 夜間景観の電気代は今後、だれが払っていくのか考えていく必要がある。
- 図書館を含む複合施設をぜひ作っていただきたい。

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興建設部 市街地復興課 〒868-8601 熊本県人吉市西間下町 7-1
Tel:0966-22-2111(内線:2216) Fax:0966-24-7869
E-mail:shigaitifukkou@hitoyoshi.kumamoto.jp